



東口 隆弘
議員
(政清会)



今日、地方分権改革の流れの中で、魅力ある地域社会の実現と誇り高い郷土を目指す観点から、行政への住民参加、行政と住民との協働、即ち住民自治の質的向上が要請されている。

本町では、住民参加、協働のシステム構築に先駆的に取り組んでいる。

しかし、ともに課題解決をする公共的意識はなお希薄で、熱意ある者でも、課題解決に向けた知識、方法論が伴わないようである。

住民の先頭に立ち、意識、見識、行動ともに住民をリードする有為な人材の育成に着手すべきと考える。

人材の育成には、人材力の強化を地域の向上のための重要な要素と考え、本町の住民自治の更なる発展を開くものと考え以下のことを伺う。

①町づくりの核となる人材育成の強化のためのリーダー養成塾の創

問

**まちづくりリーダー育成・強化のための取り組み状況は
住民参加のまちづくりの取り組みを
推進している**

設について。

②地域活性化や課題解決のための住民の主體的な企画提案、事業実施に対する助成制度について。

③町職員の人材育成の一環として公区行事や公共イベントなど地域活動への参加について。

町長

①まちづくりリーダー養成講座の創設については、先進事例の調査・研究を行うとともに、十勝定住自立圏の中においても協議すべき課題の一つであると考えており、広域的な取り組みも視野に入れながら研究に努めていきたい。

②変化の激しい時代の中で、地域社会における課題もますます複雑多様化してきており、行政には、より柔軟かつ迅速な対応が求められている。こうした背景のもと、新たな公共サービスを担うとされる住民活動団体がより活動しやすい環境を整備し、支援をさらに推

進することにより、住民活動の活

性化と公共サービスの担い手を育てていくことは大変重要であることから、本町ではどのような取り組みがふさわしいのかを含め、先進事例の研究を行っていきたい。

③職員が公区において、役員として中心的に活動することや地域住民として公区や町の行事に参加することは、まちづくりにおける人材育成という観点からも非常に意義深いものであると考えている。

職員としてこれまで培ってきた知識や情報、経験などを生かすだけではなく、住民の皆さんとともに汗を流し、苦労や喜びを分かち合うことにより、住民の目線に立ったまちづくりの企画・立案に大いに役立つところであり、住民との信頼関係が生まれ、住民とともにまちづくりを進める人材として力を発揮し、地域力向上の一助となるものと期待している。

再質問

①まちづくりリーダー養成塾カリキュラムの意義について。
②町づくりリーダーの養成と生涯学習との関係について。
③町職員の公的活動への積極的参加について。

答

①塾を通じて学んだ方々が今どのような実践をされているのか、これから調査・研究をしながら、町としての対応に当たりたい。

②人材育成と生涯学習とは一つにならない部分もあるが、大事な活動と思っている。

③私は絶えず職員には、公区活動やイベントには参加してほしいことを伝えている。



鉄南4公区合同防災訓練の様子（南小体育館）